

令和元年度 学校自己評価システムシート (学校法人狭山ヶ丘学園 狭山ヶ丘高等学校)

目指す学校像	学力向上と部活動の充実発展および進路実現を目指す。
--------	---------------------------

重点目標	1 大学合格実績の伸長 2 教科指導の徹底と学力向上 3 部活動の活性化 4 基本的生活習慣の構築
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	7名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	0名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (6月5日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒全員の学力向上を目指し授業の充実は勿論、朝ゼミ、放課後ゼミ、長期休暇中の講習を展開している。また、大学入試の変更に対応する進路指導を展開する必要がある。生徒たちは、真面目に授業やゼミ等に取り組んでいるが、若干、難関大学受験を控える傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標大学の動向をみる。 補習、講習への参加人数の動向を見る。 模擬試験等の偏差値動向を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体指導やガイダンスの際、自己の可能性を信じ、上位校を目指す指導をする。 学習の進め方指導や苦手教科の克服指導に工夫を凝らす。 自学自習の確立を指導する。 ガイダンス等で、必要な情報を生徒に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 上位大学を目標とする生徒数 模擬試験等において実力が高まった生徒数 早い時期に目標大学を決め、その意志を持ち続けた生徒数 	<ul style="list-style-type: none"> 東京大学をはじめとする難関国立大学に合格者を輩出することができた。補習、講習にやる気のある生徒の定着があった。 私立大学志望生徒が自分の実力相応の大学志望に変わっていった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 将来に対する目的意識を早い時期に持たせ、より高い目標を持ち続けさせること。繰り返し演習することの大切さを指導し、定着させる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく充実した授業を展開し、予習、復習を徹底させ基礎力の定着を図り、応用力の育成を目指している。 先生により授業展開に若干差があることは否めない。そのため、生徒の取り組みに差を生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容、特に分かりやすさと関心を引く度合いに着目。 小テストを使って理解度を見る。 質問をする、答える度数に着目。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入を工夫し、展開を丁寧に行い、理解できるということを実感させる。 展開の中で、発展・応用への展望を生徒が持てるように指導する。 授業に変化を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自学自習をするようになったかどうか。 生徒の授業への満足度が高まったかどうか。 生徒の実力が向上したかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に集中するようになり、理解している度合いが増した。 導入と展開・発展のバランスが難しく進路調整に時間が掛かった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観、研究授業を更に積極的に行い、授業の質的向上を図る 教科会等を利用して、授業充実を図ると共に大学入試改革に向け、情報を収集し進路指導に活用する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 部活動への加入状況は全学年共非常に高く、勉学と両立させている。入学時にIV類を設けたことで、野球部、サッカー部の強化が期待される。文化系部活動を活性化させることがこれからの課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 試合や発表会の結果 活動報告の度数 体育祭や文化祭等で見る活動内容 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動に全生徒が参加できるように呼び掛ける。 短時間でも集中した部活動にできるように練習内容や活動内容を模索する。 練習試合や小さな発表会等を利用して、モチベーションを高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動への参加数が増したか。 活発に活動しているクラブが増えたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動顧問会にて生徒の参加状況等を把握できた クラス担任は面談等を通じ、両立のための適切なアドバイスをした。 クラブの試合報告や活動報告をした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 試合結果や活動報告等を広く紹介するなど、活動への意欲を更に高める工夫をする。 短時間で効果的な部活動の運営を更に模索する必要がある。
4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣は概ね、確立されており、欠席、遅刻、早退は少ない。 挨拶がしっかりできる生徒も相当数いるが、十分ではない生徒の存在もある。 周囲の状況を弁えた行動がとれない生徒が若干いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行 弁えた行動がとれる。 校則を遵守する。 自転車の適切な乗車。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員で常に生徒を見守る。 事前に十分指導、説得し、その上で、少ない校則を確実に守らせる。 担任のHR時の指導を確実に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 校則違反者がどの程度減ったか。 挨拶が交わされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 違反者の数が減った。 部活生の挨拶はしっかりできている。 時と場所を、弁えた行動がとれない生徒はいるがその数は少なくなった。 自転車を並列乗車する生徒が見受けられる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> HR時の担任指導を含め、あらゆる機会を活用し、あるべき生活の仕方を指導していきたい。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和2年7月11日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>学年や教科以外の先生でも、受験や面接のアドバイスをして頂け、とても前向きに取り組むことが出来ました。長期休業中の講習は、子供たちの大学受験において、とても役に立ったと思います。</p> <p>子供達の理解度を見極めて頂き、更に学力が向上出来るようご指導頂けたらと思います。全般的に、充実した授業を行って頂けていると思います。</p> <p>先生方に、大変熱心に指導して頂いています。大会等の実績も伸びている様に思われます。部活動と勉強との両立で、とても充実した毎日を送ることができています。</p> <p>髪の毛の長さなど、少々厳しいと感じる校則ですが、ご指導のお蔭で、身だしなみはしっかりしていると思います。</p>	